



写真：松山市 伊藤一春さん撮影

足摺岬の道 夜明の大岐の浜



発行所
〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884)73-0743
FAX (0884)73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 南前野印刷

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。



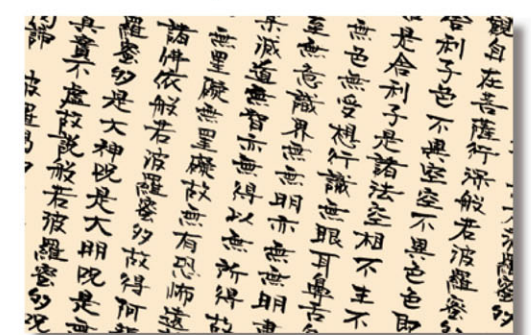
身中お見舞い由上ります

今和二年 盛夏
鯖大師本坊 柳本明善

今和二年七月 豪雨
一日も早い復興と
皆様の無事をお祈り
申し上げます
合掌

身近には、精神の集中によって大脳が刺激され善い知識に目覚め、精神力が安定して生命力が蘇り霊感が働き奇跡が起こると言われています。また、自分の健康を見つめ直すことが出来、特に気が充実してストレスの解消や認知症の予防にもなります。

「お写経」とは、お経を書き写す事です。沢山のお経がありますが、般若心経は私たちが日常、最も多くお唱えし、また四国巡拝でも多くの人がお唱えされている身近なお経であります。



古来、般若心経をお唱えし、お写経をしますと、その功德は計り知れないと言われています。大きくは世の中の平和、怨霊を鎮め、疫病を祓うと言われています。身近には、精神の集中によって大脳が刺激され善い知識に目覚め、精神力が安定して生命力が蘇り霊感が働き奇跡が起こると言われています。また、自分の健康を見つめ直すことが出来、特に気が充実してストレスの解消や認知症の予防にもなります。

古来、お写経はご先祖様のご供養に特に功德があると言われております。

「お写経」準備・用具

- ・写経用紙、毛筆、筆ペン
- ・テレビ等を切る、手洗いを済ます
- ・線香一本を立て、部屋を清める
- ・般若心経を唱える
- ・浄写(最後に自分の願い事を書く)
- ・書き終わりましたら

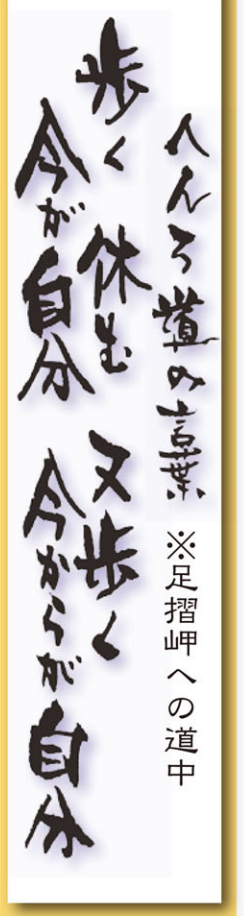
御法号
南無大師遍照金剛
を二度お唱え下さい

「願わくば、この功德を以つて普く一切に及ぼし、我らと衆生と皆共に仏道を成ぜん」とお唱えして下さい

以上

南無大師遍照金剛

合掌



鯖大師ホームページ
URL
<http://www.sabadaishihonbou.jp>
* ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願・ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

祈 新型コロナウイルス 病魔退散

心を洗い 心を磨く
「お写経」般若心経を書くと

人生即遍路 四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く



歩くも通路 満足行巡拝 第十五回、パート(3)

令和二年二月十二日より 令和二年二月二十一日

読むお遍路

今回の巡拝は、修行の道場・土佐霊場の後半からである。土佐は南国と呼ばれるが二月は朝夕冷たい。また、今回のコースは札所間が離れて遠い巡拝である。

海の遍路道から岩不動

第三十六番・青龍寺から第三十七番・岩本寺へは宇佐大橋のたもと埋立から浦ノ内まで約一時間ほど船に乗る。浦ノ内より山を越えると岩不動、岩に不動明王像が刻まれている。

別格霊場第五番・大善寺は須崎市内の小高い山上、境内より須崎湾を望むことが出来る。

焼坂峠を越えると土佐一本釣の中土佐の町

早朝、安和より焼坂峠超えをする。足元は暗くガラ場の急坂を登る。中土佐町久礼の大坂峠の急坂を登ると七子峠、中土佐、久礼の海を一望、素晴らしい。第三十七番・岩本寺に午後四時過ぎに着き参拝。

岩本寺のご本尊は五体



第37番・岩本寺本堂

岩本寺のご本尊は不動明王、観世音菩薩、阿弥陀如来、薬師如来、地藏菩薩である。本堂の天井には色鮮やかな絵、マリリン・モンローさんに久しぶりに逢う。黒潮町、伊予喜、ここには明治時代に造られた熊井隧道のへんろ道がある。高速道路工事の為、通行止め残念！

太平洋の大海原を眺め四万十川を渡る

佐賀より海沿いに井ノ岬を越え、道の駅から松原とラッキョ畑を歩く、田野浦、平野と歩き四万十川の河口、下田に出る。今は四万十川の渡し船は廃止されているが、四万十市の山下建設さんと山沖さんの計らいで船を出していただき、対岸の初崎に渡る。伊豆田トンネルを抜けると土佐清水市、市野瀬、下ノ加江から久百々と歩く。



四万十川の渡船

願いが叶う、なぎさの遍路道

前方に足摺岬を望み、久百々より大岐海岸を歩く。浜の波打ち際の砂浜が遍路道である。白砂青松、一四kmの浜。砂浜に自分の願い事を杖で書く、打ち返す波が消してくれる浜灌頂の儀式が出来、願いを叶えてくれる浜である。

海の信仰の霊場、金剛福寺



第38番・金剛福寺山門

二月十六日、久しぶりの雨、本降りとなり風も出てくる。以布利から窪津、津路と雄大な太平洋を左に足摺岬への道を歩く。昼過ぎ第三十八番・金剛福寺に着く。四国最南端足摺岬は多くの修行者が見果てぬ観音浄土、補陀落渡海をした場所である。この様な悲しい話が伝えられるが岬は豪快で明るい。

足摺岬を西廻り、ジョン万次郎の生家を訪れる

岬を西廻りして松尾から大浜、中浜と歩く。中浜ではジョン万次郎の生家を訪れる。中浜の漁師、万次郎は足摺岬沖に魚に出ていて遭難、アメリカの捕鯨船に助けられ、幕末に帰国、外交官となった人である。

四国遍路、中興の祖・真念の庵と道



真念庵

四国遍路、中興の祖、真念庵を参拝、真念庵は足摺岬からの打ち戻りの通夜堂として建てられた庵である。ここから真念の建てた道しるべ道が残るコースを歩き、地藏峠を越え宿毛市平田に出る。



第39番・延光寺の亀

第三十九番・延光寺は平田の奥まった山裾に静かに佇む。境内に住む赤亀が龍宮城から銅鐘を背負って帰ったと言う伝説の寺である。二月十八日、早朝、ライト片手に旧街道、松尾峠を登る。

松尾峠を越え、伊予の最初の札所、観自在寺

松尾峠は標高三百m、土佐、高知県と伊予愛媛県の境、郡界の標石が今に残る。山頂に大師堂があり参拝する。第四十番・観自在寺は第一番・霊山寺から最も遠い位置であるから裏関所と呼ばれている。

菊川から室手海岸沿いに歩き内海から柏坂の遍路道に登る。柏坂は標高四百七十m、約五kmの山道である。頂上からは宇和の海が一望できる。宇和島市津島、大門に下る。国道五十六号線、一七kmの松尾トンネルを避けて峠の遍路道を越え宇和島市内に歩く、別格霊場第六番・龍光院は宇和島駅近くの高台、宇和島市内を一望できる。



第40番・観自在寺山門

稲荷信仰の龍光寺、慈悲の仏木寺

第四十一番・龍光寺は通称、三間のお稲荷さん、山の斜面左に本堂、右に大師堂、少し登った正面に稲荷さんが鎮座されている。御本尊は十一面観世音菩薩である。第四十二番・仏木寺は三kmと近い。柳本尊は牛に乗った大日如来として、お百姓の信仰が篤い。御詠歌は「草も木も仏になれる仏木寺、なおたのもしき鬼畜人天」と仏の優しさ慈悲を説く。今回は仏木寺で打ち止めとする。二月十一日から十日間、風の冷たい日、雨の日もあった。修行の道場土佐、遠い札所間、ただ歩くばかりの日も有りましたが、事故もなく無事に修行できた事に感謝致します。



別格第6番・龍光寺本堂



第41番・龍光寺

南無大師遍照金剛

私の満足行



徳島市 田村 容子

私は令和元年六月、第十五回、パート(1)から参加させていただいております。

初めての歩き遍路、満足行参加の先輩の方々、お先達さんに助言やご指導をいただきながら皆に遅れまいと必死に歩きました。豆だらけの足を庇い、痛さで足を引きずりながら宿にたどり着く。翌朝、足は痛く、身体は疲れていても、白衣を着て杖を持つと、元気に歩けるのが不思議でした。

道端の花を愛で心を癒され、出逢った人の言葉に励まされ元気をいただく。日常では見落とす様な些細な事に心を動かし、自分自身を見つめ直す事が出来ました。

満足行に参加させていただいたご縁に感謝いたします。 合掌

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く



歩くも遍路 満足行巡拝

第十五回、パート(4)

令和二年六月十七日より
令和二年六月二十六日

読むお遍路

伊予を菩提の道場と呼ぶが、礼所間の遠い寺、厳しい山登りの札所がある。

明石寺は修験道の雰囲気

第四十二番・仏木寺より歩き始める。歯長峠の遍路道は平成二十八年より通行不能また歯長トンネルを抜けてからの下り道も通行禁止となっている。西予市宇和、第四十三番・明石寺は杉山の奥まった所。今回、初めてのお勤めをする。山越えの遍路道を歩き歴史の町、卯え町に出る。



第43番・明石寺の本堂



別格第7番・出石寺への道

出石寺の参拝は一日がかり

別格霊場第七番・出石寺は海拔八二〇mの金山の頂上、夏草が繁る平野より登る。午後二時過ぎに出石寺に着き、大雨の中お勤めをする。

橋の下のお大師さまは川の中

別格霊場第八番・十夜ヶ橋は平成三十年七月七日の西日本豪雨で肱川が反乱し本堂が浸水、今、建て替えの為、更地となっている。橋の下のお大師さまは六月十五日末の大雨で増



別格第8番・十夜ヶ橋 (川の中にお大師が居られる)

水、川の中である。ボツンと残る大師堂でお勤めをする。

鴛田峠を越え、第四十四番・大宝寺

大宝寺から第四十五番・岩屋寺には内子町から小田川沿いに歩き臼杵から鴛田峠を越えるコースを歩く。久万町に入り杉の巨木に囲まれた大宝寺を参拝する。八十八ヶ所霊場の丁度、半分である。



第45番・岩屋寺本堂

山の朝霧の岩屋寺

第四十五番・岩屋には昔の参拝道、八丁坂を越え山の稜線を歩き参拝する。今は車道から登り参拝するが、この歩き道が本道である。岩屋寺はいつも来ても神秘的な雰囲気か漂う、特に朝が良い。岩屋寺から引き返し河合より高山、千本峠越えをする。峠からは久万の町が一望できる。

幽寂な境内・浄瑠璃寺

今に残る四国の遍路道の一つ、二・六kmの三坂峠遍路道を下り、第四十六番・浄瑠璃寺を参拝する。いつも心を惹かれる寺である。熊野修験道を今に伝える第四十七番・八坂寺は近い。四国遍路の元祖、衛門三郎ゆかりの別格第八番・

文殊院も近い。第四十八番・西林寺は道路沿い、山門前に「秋風や高井の里のていれぎ、三津の鯛」の正岡子規の句碑が立つ。第四十九番・浄土寺は三km、念仏聖空上人ゆかりの寺である。



第47番・八坂寺

信仰と観光の古刹、石手寺

第五十番・繁多寺、通称、畑寺は松山市の浄水池の横にある。境内より道後を一望できる。道後温泉に近い第五十一番・石手寺は衛門三郎ゆかりの寺、国宝の仁王門や三重塔、古い堂宇が今も残る名刹である。

第五十二番・太山寺、山全体が境内、一の門、三の門をくぐって坂道を登ると本堂である。第五十三番・円明寺は打ち戻った和気の町中にある。

波おだやかな瀬戸内海沿いに歩く

旧北条市の海沿いの宿を早朝に出て鎌大師堂を参拝し山越えをして浅海に出る。瓦の町菊間を通り今治市、第五十四番・延命寺を参拝し市内の第五十五番・南光坊を打つ。

山門から御加持水を登ると仙遊寺

第五十六番・泰山寺を参拝し第五十七番・栄福寺に歩く、雨が降り出す。栄福寺から犬塚池を登り、さらに登ると第五十八番・仙遊寺に着く。雨は止まらず本堂の軒下に座してお勤めをする。第五十九番・国分寺、天平時代聖武天皇が当時流行した疫病封じと民心の安定を



別格11番・生木地藏で参加者

願って全国に建てた国分寺である。

国分寺から別格第十番・興隆寺、第十一番・生木地藏までは二十km程、コースと日程の余裕が無かったので車を使って参拝する。

ハイライト、横峰寺参拝

今回の最終日、コンビニで朝食を済ませ大頭から登山口、湯波に歩く。湯波には立派なトイレが出来ていた。湯波より三・二kmの登り、標高七四五m、石鍾山信仰の寺である。久しぶりの横峰寺、参拝者はまばらであった。時折り小雨の中、第六十一番・香園寺の奥ノ院、白滝不動に下る。六・一kmの下りは足元が悪く疲れる。この道も一部、一昨年未の大雨で崩落、また、奥ノ院、白滝不動の行場も立入り禁止となっていた。十五時、香園寺に着き大聖堂の本堂でお勤めをしてパート(4)の巡拝を終わる。

今回、天候の具合、また一部巡拝コース設定に無理があり、計画通り巡拝が出来ませんでした。事故もなく無事に終わることが出来ました。

お大師さまの御加護に感謝して今回の満足行を終ります。 合掌



第60番・横峰寺登山口湯浪のトイレ

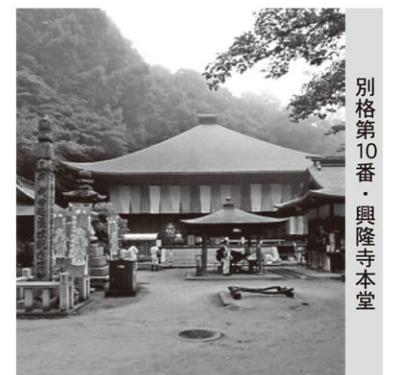
(修行日数) 十日間
(走行距離) 二二六km
(同行者) 十三名
(二部参加者を含む)

南無大師遍照金剛

ブログ

「鯖大師本坊歩き遍路・沙門明善」

*満足修行の道中日記や写真をブログで更新しています。ご覧下さい。



別格第10番・興隆寺本堂

百八煩惱消滅の道
歩くも遍路
満足行代参巡拝



四国八ヶ所霊場・別格二十ヶ所霊場

百八ヶ寺、百八回のご祈願

あなたに代わり、歩いて巡拝

令和二年十一月 十九日(木)～
令和二年十一月二十七日(金)

九日間

第十五回、満足行パート5は、第六十二番・宝寿寺より第八十三番・一宮寺(別)12番・延命寺(別)19番・香西寺まで歩いて巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方歩いてお参りしたくても出来ない方

あなたに代わり歩き、お願い事を百八ヶ寺の御宝前にてお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)

三千元以上

※代参ご祈願ご希望の方は十一月二十日までに申し出下さい。代参巡拝後ご祈願札をお授け致します。

自分の道を見つけよう、幸せの道を見つけよう！

菩薩の道場から涅槃の道場を歩いて巡拝いたします。お大師さまの同行二人のご誓願を身を以て修行する。

人生即遍路 第15回
満足行
歩くお遍路
パート5

参加料

10,000円

障害保険料、渉外費に充当

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担。



日時：令和2年11月19日(木)～
11月27日(金) 9日間

集合：令和2年11月18日(水)午後5時
愛媛県西条市 しこくや

巡路：第62番・宝寿寺～第83番・一宮寺(別)12番・延命寺～(別)19番・香西寺まで
(歩行距離 233,1km)

※参加申し込み〆切日 令和2年10月31日

参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゅうにち)とし前後の三日間を合わせた七日間を言います。九月十九日(土)～九月二十五日(金)

この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

彼岸の入りから明けまで七日間

一霊 三千元

- 【布施】他人へ施しすること
- 【忍辱】不平不満を言わず耐え忍ぶ
- 【禅定】心を安定させること
- 【持戒】戒を守り、反省すること
- 【精進】精進努力すること
- 【智慧】真実をみる智慧を働かせる

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでご供養下さい。

令和二年度

壺ヶ年間「月命日」献灯(壺万円)

仏教では苦しみの根源、迷いや煩惱を「無明・むみょう」と言います。炎は不浄を燃やし魔を除き浄化して清める働きをします。光明は人が煩惱の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。

無明を照らす光明

ご先祖さまと現世と結ぶ架け橋

献灯供養

大不動明王
護摩堂奉安祈願



お不動様のお力に
おすがりして
あまねく悪を退け
本当の幸福という名の
功德をつかんで
頂きたいのです

永代ご祈願大不動明王



護摩堂内に奉安・永代にご祈願申し上げます。身丈54cm 重さ8kg

願主奉納料
願主 参拾萬圓也
ご祈願金

大不動明王願主
ご芳名

- | | |
|-----|-------|
| 東京都 | 川嶋 尚道 |
| 山口県 | 松本 武利 |
| 香港 | 陳 祉君 |
| 香港 | 周 睿 靈 |
| 香港 | 余 建 鋒 |
| 香港 | 陳 鋌 而 |
| 香港 | 李 惠 倫 |
| 香港 | 李 曉 陽 |
| 香港 | 梁 佩 嬋 |
| 香港 | 周 天 愨 |

令和元年十二月一日より令和二年六月三十日まで奉納祈願された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。(敬称略)

八十八ヶ所お砂ふみ 蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされており、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊いおかげの心をご供養するお気持ちで蓮華台奉納の申し出をお願ひ致します。奉納供養は一口壹万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。合掌

一口壹万円

※一人何口でもお受けいたします。



(一ヶ寺30名様完成品) 奉納者名は不動洞にて永代にご供養致します。



奉納数は一〇八ヶ寺で終了とさせていただきます。

蓮華台奉納願主
ご芳名

第八十四番
屋島寺

別格第十一番
正善寺

奈良県

大澤 博
大澤 惠美子

東京都

栃木直文
三十口

愛媛県

池田 通世

令和元年十二月一日より令和二年六月三十日までに奉納祈願された方です。(敬称略)

不動明王・地藏尊
ご浄財ご芳名(二万円以上)

大阪府

小林 貞子

熊本県

濱本 道心

香川県

浮田 トシ子

岡山県

柏野 勇

愛媛県

橋本 涉

愛媛県

橋本 美子

愛媛県

橋本 美子

佐賀県

桑原 高士

令和元年十二月一日より令和二年六月三十日までに奉納祈願された方です。(敬称略)

令和元年十二月一日より令和二年六月三十日までに奉納された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。(敬称略)

令和元年十二月一日より令和二年六月三十日までに奉納された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。(敬称略)

千葉県 黒川 浄慧	千葉県 秋谷 和夫	千葉県 秋谷 和幸	東京都 中崎 尉浩	静岡県 佐野 正治
岡山県 牧野 孝子 (2体)	高知県 山谷 峯生	福岡県 庄 朝子	福岡県 匿名	福岡県 匿名
香港 張 威士	鍾 惠玲	莫 淑芬	梁 子喬	蔡 惠珍
劉 小麗	蔡 碧芳	蔡 惠珍	蔡 惠珍	蔡 惠珍
香港 楊 溥澄	陳 毓而	李 煥儀	李 碧頤	宋 慧明
伍 芷葦	李 鄭柏好	李 慧明	李 慧明	李 慧明
香港 蔡 玉珍	陳 甜	陳 甜	陳 甜	陳 甜

百衣観音奉納願主ご芳名

三十三観音霊場永代奉安
百衣観世音菩薩

為山田家先祖代々菩提



願主
徳島県
山田 太郎

私たちに苦一むかえ
救い導く仏
観音さまに願いを

一願一体
貳萬円


般若心経折鶴

願掛け千羽鶴

千枚・二千円 (荷具送料別途)

〓病気の方の快復を願ひ、子宝、出産、試験等の諸願成就のため、亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、様々な願いを鶴に込めて願いを成就下さい。

和和元年十二月一日より令和二年六月三十日まで奉納祈願された方です。(敬称略)



鯖大師・多宝塔

壹萬羽鶴

一羽・千円

鯖大師では皆様の願い、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に願いを込めて折って戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を發願致しました。

皆様の願いを多宝塔の観音さまにお供えし、飛天さんに天空へと届けて戴きます。

「お願い事、お名前を書き、一折り、一折りに想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」

奉納折鶴 二、五六五羽

右記の数は、平成二十五年十一月三日より令和二年六月三十日までの累計です。



「壹千文字」

ご奉納願主ご芳名



ご奉納文字数 五百四十二文字目

- 高知県 山谷 峯生
- 高知県 山谷 知恵子
- 高知県 中城 幸子
- 高知県 山田 明子
- 熊本県 竹田 ハツミ

般若心経

多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。皆様のお写経奉納をお願いします。

お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。

奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙

(三十枚つづり)

一冊 千円
荷具送料 三百円

お写経奉納料 一卷(一枚)千円

奉納お写経 九九、八八八巻

右記の巻数は、平成二年十二月一日より令和二年六月三十日までの累計です。

般若心経塔ご浄財 ご芳名 (二万円以上)

- 愛知県 伊藤 富子
- 兵庫県 松浦 幸子
- 岡山県 山田 利代子
- 広島県 代表 堀 明
- 徳島県 原 幸子

令和元年十二月一日より令和二年六月三十日までに
お花代、お供えとして奉納された方です。ここに厚く御礼を申し上げます。
(敬称略)

病魔退散 終息成就

新型コロナウイルス

お写経奉納の御礼

皆様にお願ひ致しております、新型コロナウイルス病魔退散・終息成就のお写経は、六月三十日現在、百五十六巻を奉納していただきました。

七月に入り感染者の報告が聞かれ、各地で第二派が懸念される現状です。手洗い、うがい等の自己防衛を維持され、健康に留意してお過ごし下さい。

一日でも早く平穏な日々が戻りますように心よりウイルス終息を願ひ、皆様の書かれたお写経を奉納させていただきます。

※尚、引き続きお写経浄書のご協力、お願い申し上げます。

合 掌

千体地藏尊奉安 ご祈願のお勧め

ご先祖・法名、あなたのお願ひすることを地藏尊石仏に刻印。

鯖大師本坊境内、水琴水掛地藏尊の並びに奉安。永代にご祈願。

千体地藏尊 奉安ご祈願料 拾万円

※石刻印 一文字 五百円



※奉安・ご祈願の方はお申し出下さい。

毎月、御縁日法要

(各・午前十時より)

観世音菩薩・御縁日

毎月、十八日

お大師さん・御縁日

毎月、二十一日

地藏菩薩・御縁日

毎月、二十四日

不動明王・御縁日

毎月、二十八日

毎月各尊、御縁日には精進供をお供えて梵唄を唱え御縁日法要を厳修します。
※都合によりお勤め時間の変更になる場合もあります。



合掌

日本は夏至・冬至・春分・秋分を併せ「二至二分」とし、重要な節氣を立春・立夏・立秋・立冬の「四立」とし、この二至二分と四立を併せて「八節」とします。

人の運氣は二月三日の節分で大きな節目を迎えますが、月、日、時、秒においても運氣が変化します。この月の初め「朔日」に良い月を過ごせます様にご祈念申し上げます。

一座・五千円

毎月、一日

特別護摩祈願

FUDOMYOO

必月の初めに願いを祈る

午前十時

ご先祖を偲び、今を生きる

お盆供養のご案内 八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源はご先祖さまです。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。

命の源、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。



進徳小箱用物

三、八、八
一、八、八
九〇〇〇
〇〇〇〇
月 月 月

蓮華の香り

福の花

良いお香を焚き、亡くなられた方にお供えするのは、お盆やお彼岸で帰られたご先祖さまへの最高のおもてなしです。特別な日には、故人を敬い良質なお香を焚き大切な方をお迎え下さい。

合掌

鯖大師名香 福の花



四国霊場 鯖大師本坊特選



ストラップ、ペンダントとして



肌守りとして

禍から身を護る結界のお守りです。

諸障悉除・諸魔退散

塩結界護符守り

一願 三千円

お守りの中は浄化の為のご祈禱塩を施し、諸魔を断つ不動明王種子字の「カイン」を本尊とし背に魔除けの護符にて禍から身を結界して守護します。

護符の中に、ご本人様のお名前・年令を刻して護摩祈願にてご祈念申し上げます。

合掌

※三日間、護摩祈願致します。

